

種名	<u>シジュウカラガン</u> <u>Branta canadensis</u>												
													
分類	ガンカモ目ガンカモ科												
特徴	<p>頬からのどにかけて目立つ白斑のある、黒っぽいガン類。北米大陸北部で広く繁殖するカナダガンの1亜種である。シジュウカラガンは日本に冬鳥として渡来する。小形の亜種で、最小亜種ヒメシジュウカラガンも日本で記録されたことがある。12 亜種中には、すでに絶滅してしまったものもある。</p>												
生活	<p>現在、日本で観察されるものは、マガン、時にはヒシクイの群れと行動を共にしている。昼間は安全な池や沼で休息し、首を背中の中に入れて寝ていることも多い。夕方と早朝には広い水田地帯で採餌し、地上を歩きながら、主にイネの落ち穂などの草の実を食べる。</p>												
声	<p>北アメリカでは「グワー」「グワァー」「ゴァー」などと聞かれる少し鼻にかかった大声で鳴いていた。マガンのように飛翔中にも鳴き交わし、水面に下りているときもよく鳴き交わしている。</p>												
見分け方	<p>全身黒っぽい、マガンと同大のガンで、脚が黒いことから頬からのどの白斑が特徴である。</p>												
時期	(月)	1	2	3	—	—	—	—	—	—	10	11	12
その他	<p>全長(L) 64cm 翼開長(W) 109cm</p>												
参考文献：山溪カラー名鑑 日本の野鳥													